

工事時間が半減する改良型ガス管分岐継手

「シャッター装置不要型 鋼管／铸铁管用トランジション活管分岐継手」

当社初の日本ガス協会「技術大賞」に



京葉ガスなどが開発したガス工事用の部材「シャッター装置不要型 鋼管／铸铁管用トランジション活管分岐継手」=写真=が、一般社団法人日本ガス協会の平成 27 年度「技術大賞」に選ばれました。

本日、都内で表彰式が行われました。

当社と大多喜ガス株式会社、北陸ガス株式会社、JFE継手株式会社などが共同で開発した「シャッター装置不要型 鋼管／铸铁管用トランジション活管分岐継手」は、道路に埋設されているガス管から新たに分岐する際に使用するもので、バイパス管を設置することなくガスを流したままの状態ですぐに施工できます。また、道路を掘削する面積が従来の切断分岐工法に比べ 4 分の 1 ほどになることなどから、道路の掘削から埋め戻しまでを含めた工事時間は半減し、工事費用が低減されます。

バイパス管なしでガスを流したまま分岐できる継手は以前からありましたが、ガスがもれないようにする別体の「シャッター装置」を必要としたためこれを内蔵させるなど改良し、施工性の大幅な向上とコンパクト化を図りました。

当初、鋼管用として開発したものが平成 16 年度の技術賞となり、平成 17 年から铸铁管用をラインナップに追加。これまで全国のガス事業者にも 6 千個超が採用されるなど実績も評価され、当社としては初となる、技術 3 賞のうち最高の大賞に選ばれました。

一方、株式会社藤井合金製作所と共同開発した、業務用厨房にも対応可能な「防水ねじガス栓」が技術賞に選ばれ、当社として平成 12 年度以降、16 年連続での同賞受賞となりました。



継手(下)に専用の穿孔機を取り付けた状態

